



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 27 No. 2844

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長／菊地 昭通
- 副会長／山下 卓己
- 幹 事／福島 和秀
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

RI ホームページ <https://www.rotary.org>

第2931回例会 2024年 2月 26日

今日のプログラム

・夜間例会

前回（2月19日）の記録 ・普通例会

司 会 志村孝幸 会場監督
 斉 唱 それでこそロータリー
 本日の出席 会員 43人中 出席者 30人 出席率 72.09%
 本日の欠席 生田真至・榎本實男・大橋直幸・加藤博・菊地仁・北村浩史・國森和磨
 近藤峯世・田中道也・奈良康弘・深尾幸夫・前田孝幸・山本政史
 ニコニコBOX 谷村一文会員（北洋はまなす会総会 商品受賞祝）
 菊地昭通会員（会長の男気を感じた瞬間記念）
 片庭隆暁会員（北星信金士別会総会 理事長賞受賞）
 細川博司会員（北星信金士別会総会 会長賞受賞）
 織戸俊二会員（交通安全功労者表彰受賞祝）
 谷 温恵会員（雪まつり園児参加終了御礼）
 神田英一会員（北洋はまなす会総会 支店長賞受賞祝）
 千葉洋介氏（実父 千葉道夫様 葬儀終了御礼）

累計 348,000円

例会予定

■ 2月例会日[平和と紛争予防/紛争解決月間]

- 2月 5日(月) 普通例会・理事会
- 2月 12日(月) 休会（建国記念日振替）
- 2月 19日(月) 普通例会
- 2月 26日(月) 夜間例会

■ 3月例会日[水と衛生月間]

- 3月 4日(月) 普通例会・理事会
- 3月 11日(月) 普通例会
- 3月 18日(月) 早朝例会
- 3月 25日(月) 夜間例会

■会務報告.....菊地 昭通会長

今年の2月は、例年になく降雪が少なく記録的な暖かい日が続いています。

今日の最高気温がプラスの10℃以上になる予報です。本当に4月中頃の気候となりそうです。除雪業者にとっては、良いのか悪いのか微妙な感じです。

さて、本日は冒頭に悲しいお知らせをしなければなりません。当クラブ2004-2005年度、会長を務め数々の理事・委員長を歴任され、本年度理事を務めていただいている 千葉 道夫 会員が先日の13日にお亡くなりになりました。

12月のクリスマスパーティーには、奥様とご一緒に出席され楽しそうな顔を見せていただいて、1月の第1例会にも普段とは変わらず元気なお姿をお見受けしていました。

その後、体調を崩していると聞かされ今月の6日に入院されたとお聞きし、長男の洋介さんから容態があまり良くないと聞かされ、13日にお店に用事がありまして再度容態をお聞きしたら悪いと聞かされました。

何とか快方に向かってくれればとご祈念いたしていましたがしかし、その夜に病状が急変されお亡くなりになりました。

次の日、朝早くその一報を聞かされ驚きと悲しみと残念の一言に尽きります。本当に寂しく思います。

道夫さんは、みなさんご存じの通り穏やかな人柄で、いろいろと相談にお伺えすると常に前向きな助言をされ勇気と安心感を頂いておりました。

青年会議所や観光協会などでお世話になり、またロータリーでの飲み会の時は、私のたいした意味のない話でも笑っていただいた顔が目に焼きついています。私の家には、実は妻の父親が使っていたソバ打ちセットがありまして本年度の会長を退任した後、道夫さんにソバ打ちの弟子入りをさせてもらうつもりでしたが今となっては、かなわない夢となりました。

当クラブにとって頼りになる方を亡くされました。本当に心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、「生死不二(しょうじふに)」についてお話致します。

現代の社会は、死を忘れた社会といわれます。

というより、死を直視できない社会なのかも知れません。

昔の人々は、死を日常生活のなかで実感して生きていました。

今は、死は病院の中へと閉じ込められた感がいたします。

現代人は、いつのまにか死に対する意識がうすらぎ、生きることにのみ価値をみだしています。

その結果、欲望は肥大化し、他人を犠牲にしても、自分だけ生きのびることを唯一の目的にしている人が多いようです。

そのため生きることの意義も急速に失われつつあります。

仏法では、生死不二(しょうじふに)といって、生と死を一体のものとしてとらえています。

いいかえれば生も死も同等の価値をもつということです。

真に人間として生きるためには、死を直視することから始めなければなりません。

死を大切にすることは、より良く生きることであり、より良く生きるとは、死を大切にすることであるとも言えましょう。

今日、仏教の形骸化によって、葬式仏教などとさげすむ向きもありますが、それは仏教本来の内容が失われていったためであって、もともと仏教のあり方は、生とともに死を直視するところにありますから、今日ほど教えそのものが見直されなければならない時代はないでしょう。

ある宗派の宗祖は、「生死の二法は一心(いっしん)の妙用(みょうゆう)」と仰せであります。

生と死を真実に意義あらしめるものは、自分自身の心であって、その心のあり方に焦点をあてたのが仏法であります。

また、死者と生者を結ぶものは、心の絆であって葬儀や回向(えこう)といったものをもっと厳粛にして、いのちの根底にかかわるものとして行うのであると認識を改める必要があるのではないのでしょうか。

■幹事報告..... 福島 和秀 幹事

1. 美深ロータリーより会報が届いております。
閲覧ファイルに閉じておきますのでご確認ください。

2. 美深ロータリークラブより創立60周年記念式典のご案内が届いております。
日時は4月21日美深町文化会館で13:00より受付14:00より祈念式典となっております。
参加ご希望の方は福島まで連絡をお願いします。

■次年度幹事報告……………近井孝義次年度幹事

1. 2024-2025RI会長ステファニーA・アーチック会長のテーマ「ロータリーのマジック」と発表されています。

又2500地区のスローガン「ロータリーに参加しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために」と発表されています。

2. 小谷ガバナーエレクトよりクラブ会長エレクト宛に3年間の目標と計画に関するお願いが届いており、会長ノミニ、役員と協議し目標設定を4月末を目処に策定と来ており、地区協議会が終わると会議を開くようになると思われます。

策定にはMyrotaryの登録が必要と成りますので未登録の会員は、登録をお願いします。

詳細情報は、JAPANROTARYのポータルサイトに記載されています。このサイトは、検索エンジンからは検索されませんので次のアドレスを打ち込んでください。

<https://www.japanrotary.club>

3. 2月17日2024-2025 ZOOMによるRI2500地区ガバナー補佐会議に参加しました、地区の会員増強委員会がオブザーバー参加という形の参加です。

余談ですが既に補佐会議が6回目との事小谷ガバナーエレクトは、かなりの入れこみ様と思われます。第2分区のガバナー補佐は、名寄ロータリークラブの猿谷さんです。



(鈴木会員)



犬たちへの愛のために

韓国ロータリークラブ会員が奉仕プロジェクトを実施

防護服を着た20名の若者が、ゲートを開けてフェンスで囲まれた庭に入ります。するとあっという間に何十匹もの大型犬が若者たちに群がります。

元気よく尻尾を振り、人の手を舐め、ぐるぐるとその場で回って、ふざけるように訪問者を頭で押してきます。その喜び方は、人をひっくり返すのではないかと思えるほどです。これは、韓国の利川(イチョン)市にある犬の保護施設での日常です。

「クラブ会員が訪れるこの犬の保護施設は、「捨て犬たちの森」を意味する「Yugigyeon Soop」と呼ばれ、大型犬を専門としています。韓国原産の犬種である珍島犬やシェパード、シベリアンハスキー、ラブラドルレトリバーなど、約100頭を飼育しています。しかし、ほとんどの犬は正確な品種が分かっていません。また、多くの犬が四肢の一部を失っていたり、目を怪我していたりします。

保護施設のオーナーであるジュンサン・パクさんは、当初、犬用のホテルを経営していましたが、時おり犬を捨てる人がいたため、パクさんはその犬たちの世話をし始めました。1匹の犬が2匹になり、2匹が10匹になり、最終的に犬の保護施設を設立しました。

「大型犬を受け入れる保護施設は多くありません。特にこのような犬たちはなおさらです。けんかをしたり怪我をしたりしたことがあるため、ほかに行く場所がないのです」とパクさんは言います。始めの頃はいくつかの受け入れ先の家庭を見つけることができましたが、結局ほとんどの犬が施設に戻されました。

「もう二度と彼らに同じ思いをさせたくありません」と彼は話します。「私はただ、この犬たちがここで、その最後の日まで幸せに暮らしてほしいと願っています」

